

# ESD地球市民村「ラーニング・プログラム」 PART 2 参加ガイド

## ESD地球市民村「ラーニング・プログラム」概要

主催:「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム

共催:ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会、中日新聞社、

認定NPO法人「持続可能な開発のための教育10年」推進会議(ESD-J)

助成:平成25年度愛・地球博成果継承発展助成事業(一般財団法人地球産業文化研究所)

後援:文部科学省、環境省、日本ユネスコ国内委員会

お問い合わせ先:「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム事務局

〒164-0001 東京都中野区中野2-3-13 株式会社コミュニケーション・デザイン研究所 内

電話:03-3229-1041 E-mail:desd@desd.jp



ESDプログラムを実際に体験してみたい！  
 そんな皆様向け、優れたESDプログラムが集結し、  
 選んで体験できる、初めての参加型事業です。

愛知県産業労働センター ウィンクあいち (2階大ホール、11階会議室)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

開催日時 2014年1月13日 15:15~18:00

# ESD地球市民村「ラーニング・プログラム」のご紹介

ESD地球市民村「ラーニング・プログラム」は、分かりにくい・難しいと言われがちな「ESD」について、実際に日本各地で実践されている優れたプログラムを模擬教室で体験していただくことで、テーマの広がりを実感していただき、ESDを身近に感じていただくためのプログラムです。プレゼンテーションタイムで紹介される多彩な6つのプログラムの中から気になるものを自由に選んで、お気軽にご参加ください。

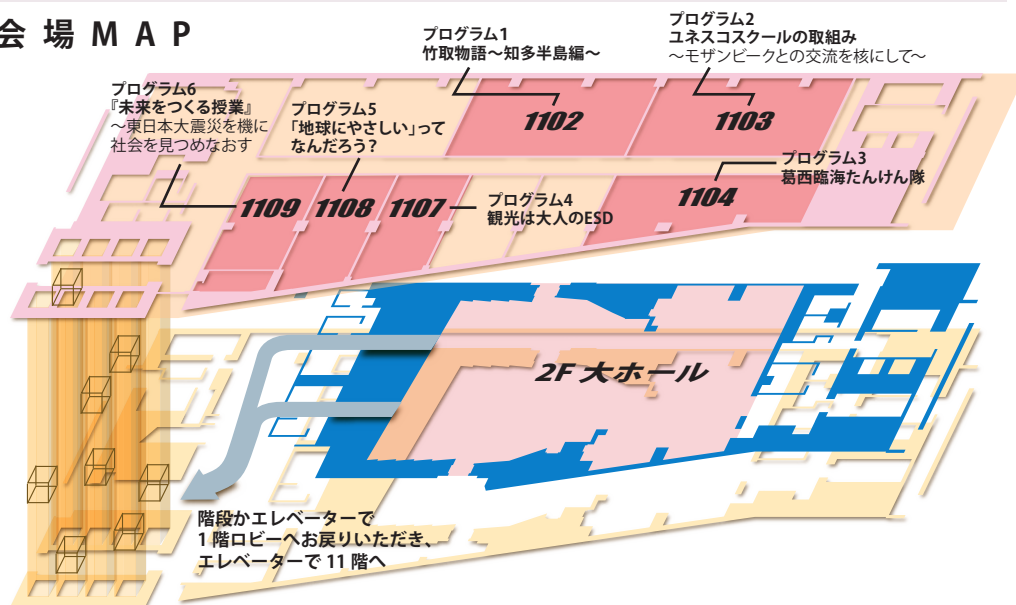
## 「ESD」は“身近な普段の生活”の中にあります。

ESDとは「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称。その内容は「一人ひとりが、世界の人人や将来世代、また環境との関係性の中で生きていくことを認識し、行動を変革するための教育」と定義されています。学校に通う子どもたちはもちろんのこと、地域や社会で暮らす全ての人の生活の中に「持続可能性」を実現していくための気づきやきっかけがあるということなのです。

## 2014年「国連ESDの10年」最終年はあいち・なごやで世界会議が開催されます!

2002年のヨハネスブルグサミット(持続可能な開発に関する世界首脳会議)で、日本は、持続可能な社会を実現するために世界中で人づくりに取り組むことを国連・ユネスコに提案しました。これを受けて開始された国連・ユネスコのプロジェクトが「国連ESDの10年」(2005年から2014年)。その最終年となる今年2014年には、ここ愛知でユネスコの公式会合「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催され、世界中がこの10年間を総括し、これからのESDの普及と発展のためにできることを話し合います。

## 会場MAP



# 参加方法

## 15:15～16:00 プレゼンテーションタイム(2階大ホール)

1) まずは大ホールのステージで実施される「プレゼンテーションタイム」で6つのプログラムの紹介をお聞きになり、参加するプログラムをお選びください。

## 16:00～16:15 移動時間

2) 「プレゼンテーションタイム」終了後は1階へ下りていただき、そこからエレベーターで11階まで移動。お目当てのプログラムが実施される各会議室へお入りください。参加登録を済ませたら体験スタート!

## 16:15～17:45(90分間) ESDプログラムの「参加体験」(11階各会議室)

3) プログラムが終了したら、ぜひ参加者アンケートにご協力ください。

お疲れ様でした!

参加にあたってのご注意

◆混雑状況によっては、ご希望のプログラムにご参加いただけない場合もございます。あらかじめご了承ください。

		15:15	16:00	16:15	17:15
プレゼンテーションタイム	2階WINK HALL (大ホール)	15:15～16:00			
プログラム1 竹取物語～知多半島編～	11階 1102会議室			16:15～17:45(90分間)	
プログラム2 ユネスコスクールの取組み ～モザンビークとの交流を核にして～	11階 1103会議室			16:15～17:45(90分間)	
プログラム3 葛西臨海たんけん隊	11階 1104会議室			16:15～17:45(90分間)	
プログラム4 観光は大人のESD	11階 1107会議室			16:15～17:45(90分間)	
プログラム5 「地球にやさしい」ってなんだろう?	11階 1108会議室			16:15～17:45(90分間)	
プログラム6 『未来をつくる授業』 ～東日本大震災を機に社会を見つめなおす	11階 1109会議室			16:15～17:45(90分間)	
	移動時間				

プログラム① 竹取物語～知多半島編～

会場 11階 1102会議室 実施者/団体名 命をつなぐPROJECT学生実行委員会

企業緑地の間伐竹を用いてクラフト体験!

竹害という言葉をご存じでしょうか? 成長の早い孟宗竹の生息域が拡大する事で太陽光が遮られてしまい、他樹木の若木の成長が阻害されてしまう害の事です。竹害は全国で発生しており、知多半島の企業緑地も例外ではありません。緑地の保全ためには定期的に孟宗竹の間伐を行う必要があります。本プログラムでは、間伐によって生じた竹材を用いてクラフト体験を行います。クラフト体験することで竹について、間伐について触れ、竹というものをもっと身近なものにしていきましょう。

ここがおすすめ!

手作り体験から楽しく知って学ぶ、学生たちによる環境教育プログラム。作品を知多の名産と共に楽しみましょう!



プログラム② ユネスコスクールの取組み  
～モザンビークとの交流を核にして～

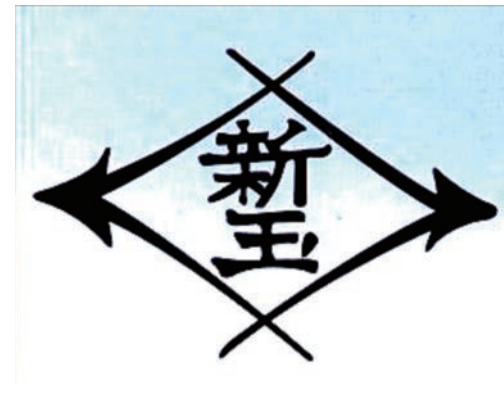
会場 11階 1103会議室 実施者/団体名 愛媛県松山市立新玉小学校

学校とNPOが協働でつくる・つながる国際理解・平和・環境学習

すべての始まりは、アフリカ・モザンビークとの出会い。そこから年々広がって、つながって、深まっている学校とNPOのユニークなESD協働事例をご紹介します。小学生から大学生や市民を巻き込む「バナナペーパー(モザンビークのフェアトレード商品)でしおりを作ろう!」「武器アートが語る平和とは?ピースメッセージを贈ろう!」「ESDリレーde刺繍」「ソーラークッカー」「カプラナ(モザンビークの布)を使ってくるみボタンを作ろう!」など多様な体験ワークショッププログラムを用意しています!

ここがおすすめ!

多彩な手作りワークショップを通じて楽しく学ぶ国際理解プログラム。作った作品はお持ち帰りいただけます!



## プログラム③ 葛西臨海たんけん隊

会場 11階 1104会議室 実施者/団体名 一般社団法人葛西臨海・環境教育フォーラム

### 様々な分野の専門家による参加体験型環境教育プログラム。

「葛西臨海公園を環境教育と防災教育の中心に」を目標にして立ち上がった一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラムが推進する参加体験型学習プログラム「葛西臨海たんけん隊」。環境教育と防災教育を中心としながら、障害の有無にかかわらず体験していただけるプログラムの開発も行っています。さらに今後は葛西臨海公園以外の様々な施設や学校への出張授業なども進めていきます。



かさいりんかい  
**葛西臨海たんけん隊!**

ここがおススメ!

今日は、感性を駆使して楽しんでいただけるプログラムの一部を体験していただきます!



## プログラム④ 観光は大人のESD

会場 11階 1107会議室 実施者/団体名 奈良教育大学 持続発展・文化遺産教育研究センター

### 目からウロコの奈良観光。大人のための観光ESD。

歴史文化遺産は単なる観光資源にとどまらず、ESDの視点で見ると、明日からがんばろう!という生きる力や未来への希望を与えてくれます。東大寺の大仏様が2度も兵火で焼け崩れたけれども、日本中の人々が力を合わせて再建したストーリー、奈良公園の鹿と人の共生ストーリー、鑑真和上の命がけの来日ストーリーなど、知らないで見るのと知ってから見るのでは、見え方がまるで違います。みなさんの地域にも必ず歴史文化遺産があります。秘められたストーリーを発掘すると、それはかけがえないものになるはずです。地元を観光して、地域の宝物を発見してください。

ここがおススメ!

昔から大切に受け継がれてきた奈良の歴史文化遺産。今日は観光気分ですその取り組みについて聞いてみませんか?



写真提供:奈良市観光協会

## プログラム⑤ 「地球にやさしい」って、なんだろう？

会場 11階 1108会議室 実施者/団体名 特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)

### 私たちの身近なモノと世界の環境とのつながりを学ぶワークショップ。中学生以上が対象です。

ポテトチップス、チョコレート、カップラーメン、アイスクリーム・・・これらに共通する、ある原料とは何でしょう？このプログラムは、みなさんに身近なある物とおして、世界の環境とわたしたちの暮らしはどのようにつながっているか、そして本当に「地球にやさしい」とはどういうことか、を考えます。参加者のみなさんの話し合いと意見交換を中心に進める「ワークショップ」形式です。プログラムの主役は、参加するみなさん自身です。ESDについてよく分からないけれど、世界のことや環境のことを他の人たちと話し合ってみたい、という方、大歓迎です。

ここがオススメ！

何気ない毎日の過ごし方が今日からちょっと変わるかも!?身近なライフスタイルから参加者みんなで考えるワークショップ型プログラムです!



## プログラム⑥ 『未来をつくる授業』 ～東日本大震災を機に社会を見つめなおす

会場 11階 1109会議室 実施者/団体名 ESD-J&EPO中部 (認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議&環境省中部環境パートナーシップオフィス)

### 愛知の教員による『答えのない課題』に挑む! ESD授業”

「未来をつくるBOOK」は東日本大震災の経験をふまえて、私たちの暮らしや社会、世界とのつながりを見つめ直すためのESD教材です。今回、この教材を元に、愛知でユネスコスクールに認定され、ESD実践の先進校である中学校、高校の先生が授業案を作成しました! みなさんで体験しながら、多くの中学校・高校で実践されるよう、意見交換/ブラッシュアップしたいと思います。教員のみならず、多くの方の参加をお待ちしております。もちろん、中学生、高校生も大歓迎です!

ここがオススメ!

ESD魂の教員に出会えます! 参加者には教材「未来をつくるBOOK」を無料進呈!



EPO 中部  
Environmental  
Partnership Office Chubu

## 昨年11月30日に第1弾を実施しました!

晩秋の豊田産業文化センターを舞台に、  
4つの団体によるESD体験プログラムを先行実施しました。

### 木の実の餅づくり

(特定非営利活動法人 白川郷自然共生フォーラム)

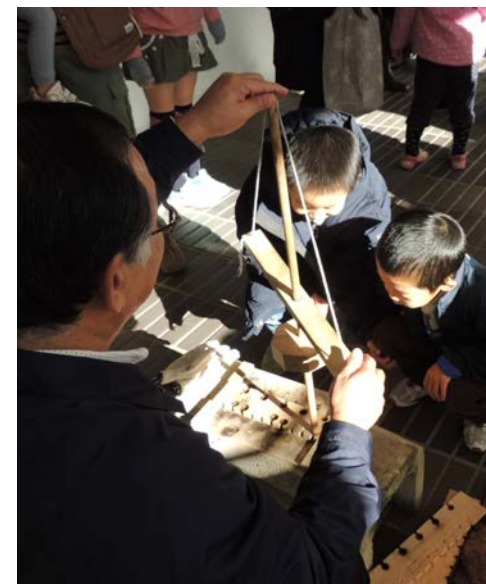
「森とともに暮らしてきた白川郷の生活遺産にふれる」ということで、栃の実で作る餅つきを体験していただきました。



### 中日新聞のESD 地球未来こども塾

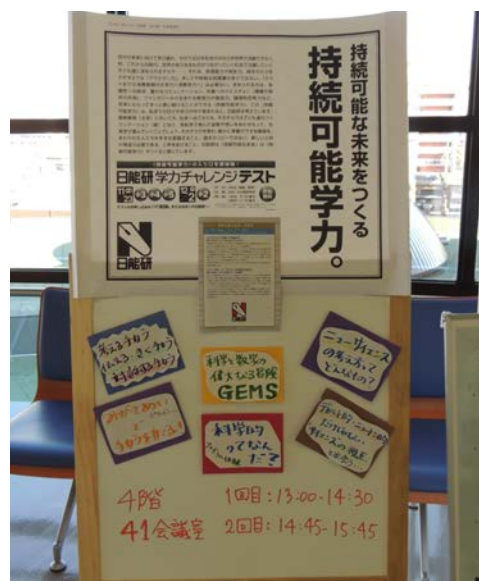
(中日新聞社 事業局社会事業部)

中日新聞のESD「地球未来こども塾」の人気プログラム、「火おこし」体験をしていただきました。



### 持続可能な未来への学び(日能研)

「ピアレビューを使って対話する」/「ゲート発・ニューサイエンスの視点と出会う」の2つの特別プログラムが提供されました。



### 100年後伊勢湾の漂着ゴミを0に

(22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会)

三重県鳥羽市の真珠と岐阜県郡上市の杉で作るワークショップを通じて伊勢湾流域について考えていただく機会となりました。

